

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0173600743		
法人名	医療法人社団 廣仁会		
事業所名	ふるさとおいわけ・東棟		
所在地	勇払郡安平町追分中央1番地41		
自己評価作成日	平成24年12月15日	評価結果市町村受理日	平成25年3月1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者本位のケアを基本姿勢「ホームは入居者様のためにある」を掲げ、利用者一人ひとりの人格を尊重し、その人らしさを支援し、一人ひとりの生活の仕方や能力を大切に出来るよう日常的に取り組み、入居者の不自由をアセスメントし、不自由を減らす支援を考え実施し本人が望む生活の実現を目標とし、入居者の一人ひとりが安心・安全・快適・尊厳が守られる環境を整えられるよう積極的に取り組んでいる。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2011_022_kani=true&JigyosyoCd=0173600743-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社 ふるさとネットサービス
所在地	札幌市中央区北1条西7丁目1番あおいビル7階
訪問調査日	平成 25年 1月 19日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

グループホームふるさとおいわけは平成17年に開設され、2ユニット18名の利用者の生活を穏やかに支えています。ホームに隣接してクリニックがあり、平日は医師が常駐しています。クリニックの医師が利用者と昼食を共にして、利用者の健康状態や食事について日常的にアドバイスを受けるなど、健康管理を医師と協力しながら行っています。ホームの敷地は広く、中庭にはパークゴルフのコースが整備されています。ホーム内は広く、入口を中心にして両翼にあるユニットを利用者が互いに行き来したりしながら、天井の高い解放感のある建物の中で過ごしています。また、ホームが所有するバスで地域の催し物などに出掛けることもあります。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	運営理念「まごころ家族のように」の基つき対応を心がけている。	平成17年の開設時に作った運営理念を基本としながら、職員が目指すケアを話し合い、ケア理念を作成しています。職員はケア理念に沿った実践ができているかどうかを毎月振り返っています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	買い物やボランティア訪問・地域行事等参加などで交流を深めるよう心がけている。今年はボランティアによるマンドリン演奏会を2回行い、ご家族や町内の方たちとの交流に努めている。	近所に住む入居者の知人が訪問したり、ホームで行われるボランティアの演奏会などに家族や近隣住民を招待しています。ホームは町内会に加入し、役職を務めるなど防災体制を含めて地域との協力関係の構築に取り組んでいます。	ホームは、開設時から地域との交流に努めており、交流はあるもののその機会は少なく、ホームの認知度を高めたいという希望を持っています。今後もホームの催しの周知などに取り組んでいくことが期待されます。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議や地域ネットワーク会議等に参加し意見交換を行ってはいるが、直接地域の人々に向けての交流は大変である。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二ヶ月に一度の運営推進会議にてホームの取り組みや意見交換を行っている。	運営推進会議は定期的実施しています。会議のメンバーは2年任期で、役場や地域、議員や家族などで構成されています。議事録を職員が回覧し、会議結果の情報を共有しています。	家族の代表者が出席していますが、できるだけ多くの出席ができるよう配慮するか、出席できない場合でも情報の共有や意見を活用するような取り組みが期待されます。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	主に施設町が役割りを担い、常日頃からの情報交換を行い質の向上に努めている。	役場を訪問し、待機・入居状況などを担当者に伝えています。その際に介護保険法の改正などにもなる運用についてのアドバイスを受れたり、ホームの現状を伝えています。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠は職員体制と外部からの安全性含め夜間時のみ行っており、それ以外の拘束としてあげられることは、外部研修・内部研修等により拘束をしないケアを実施している。	身体拘束防止に関する外部研修に職員が4名参加し、その内容を内部研修で報告しています。また、研修資料を回覧するなど、職員が身体拘束をしないケアについて理解が深められるようにしています。ホームの玄関は日中施錠せず、利用者が自由な生活を送れるよう支援しています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修・内部研修や自己学習を通じすべての虐待の防止を徹底している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在1名成年後見制度を利用している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	主に施設長・部長が十分な説明を行い、理解・納得をして頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を面会簿横に設置し、利用者様やご家族様からの意見はその都度施設長や部長・管理者等に報告し職員に伝え反映している。	毎年家族会を開催し、家族の交流や意見の交換を行っています。家族に対して毎月1回電話で利用者の暮らしぶりを伝えたり、請求書と一緒に利用者の写真や報告書を送付しています。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の全体会議・各棟の会議等で常に意見を聞くよう配慮している。	全体会議やユニット会議などで職員が意見を述べる機会を設けています。また、職員が目標を持って働けるようにするため職員面談を実施しています。職員の労働環境や給与面などについては、職員の意向を取り入れて改善するよう取り組んでいます。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	給与水準に関してはどうすることも出来ないが労働時間・希望休・年休・育児休暇等職場環境・条件の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設長に任命された職員や外部研修等に出席希望の職員は業務として研修に出席し知識を習得している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	職員の町内グループホームとの交流は少ないが、入居者を含めた活動には出かける機会もあり、今後も積極的に参加したい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前や入居時のアセスメントを把握することにより、本人が困っていること、不安なこと等受容・傾聴することで本人が安心して生活が出来るよう努める。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面接時等に意見・情報・要望など詳しく聞くことにより、お互いに安心して頂ける関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時に施設長・管理者など必要なサービスを見極め相談しながら支援できるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	常にその人の人格を尊重し、その人らしさを支援し、一人ひとりの生活の仕方や残された能力を大切にしながら、少しでも安心して暮らして行けるよう心がけている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人と家族の絆を大切にし、情報の共有により、共に支えあう関係を築くことが出来るよう支援する。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	町内での買い物や馴染みの美容院・町内の行事への参加等、関係が途切れないう支援に努め、ホームの訪問も自由に行っている。	マイクロバスを所有しており、近隣の公園に散歩に出掛けたりしています。利用者が入居前からなじみの関係にあった商店や地域の方が参加する公民館での催し物などに出掛けて顔なじみと再開する機会を持つなど、地域との交流を大切にしています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が同士の関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者の性格やその時の状況などを把握し、一人ひとりが孤立しないよう、目配りできるよう支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後でも入院先のお見舞い・葬儀・法事等の参列など家族関係は継続できている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	会話だけでなく、表情や態度などから本人の希望・意向を把握するよう努め、本人の意向に沿えるよう努力している。	年2回、センター方式のアセスメントを実施しています。また、毎月のカンファレンスで利用者の希望などについて職員が協議し、日常のケアにつなげています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントなどを利用し本人の生活歴などを把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員同士の申し送り・介護記録など利用者の状況把握に努める。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月実施するカンファレンスで検討・作成している。家族との話し合いはケアマネが行っている。	介護計画は3か月毎に作成しています。職員は毎月ユニット会議でカンファレンスを実施し、見直しを行い、変更が必要な場合は随時介護計画を変更しています。介護計画の作成に際して、本人や家族の意向を聴取し、職員が共有してケアの方針を定めています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	一日の様子・状況を記録しモニタリングを通じてケアプランの見直しに努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の要望に出来る限り応えられるよう努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域ボランティアや小学校の生徒の訪問など地域資源を活かし暮らしを楽しむことが出来るよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人やご家族の意向に添い、かかりつけの医師を選び受診・往診の支援を行っている。	ホームの隣がクリニックで、平日は夜間も医師が常駐しているため、緊急時に対応することができます。入居前からのかかりつけ医の受診は職員が対応しています。隣接のクリニックの医師が利用者と日常的に接しており、アドバイスを活用しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師により、週一回の訪問時に相談している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	日ごろから良好な関係構築を目指し、入院中も連絡を取り合い早期退院に向け必要に応じて、対応している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族との話し合いのもとで医師の協力を得ながら支援に取り組めるよう努力している。	契約時に、医療が常時必要になった場合には退去となることを伝えていきます。利用者や家族からは最後までホームでという希望も多いことから、隣接のクリニックの医師の協力のもと、できるだけ元気に暮らせるよう日常的なケアに取り組んでいます。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時対応マニュアルを作成し、内部研修等で、周知するよう努めている。緊急時は施設長の指示により対応する。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	マニュアルを作成し、四回の夜間時の火災による訓練を行う。	職員が全員参加し、昼間想定での避難訓練を行っています。ユニットにより3回程度の訓練を行っています。また、自然災害などに備え、備蓄品の確保や冬季の停電などに備えた熱源の確保などを検討しています。	今後、地域の防災に参加し、防災体制を強化していくことが予定されています。地域との関係づくりとともに、ホームの避難訓練への参加を呼び掛け、夜間想定での訓練にも取り組むことが期待されます。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員全員に周知されるよう徹底している。	理念に沿った利用者本位のケアの実践のために声掛けをはじめとして利用者を尊重するケアについて職員が話し合っています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	出来る限り本人の希望に添えるよう支援に努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その目をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者中心の生活を支援できるよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人・ご家族の意思に任せ、その人らしい身だしなみやおしゃれが出来るよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の意思を尊重しながら、入居者と職員と一緒に献立・準備・調理補助・食事・片付けなどを行っている。	利用者の希望する魚をメニューに多く取り入れるなど、その日利用者が食べたいもののリクエストにも応えながら食事を提供しています。職員と一緒に食卓を囲み、和やかな雰囲気ですべてできるように配慮しています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	医師と相談しながら、塩分・糖分など摂取の配慮をおこない、食事量・水分量は毎回チェックし一日の様子表に記載する。			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後歯磨きの声かけと、出来ない方には、義歯洗い・うがい等の口腔ケアの支援をおこなっている。			
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄パターンの把握で本人にあった声かけや、必要最小限のパットや紙パンツの使用で排泄の自立に向けて支援している。	利用者の排泄リズムを把握したり、失敗の原因を考えてケアをすることで、リハビリパンツから布パンツになった利用者もいます。家族とも経過を共有しながら、取り組みを行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	飲食物の配慮や医師と相談し必要に応じ下剤等の服薬もおこなっている。			
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	基本は火・金の設定で入浴の支援をおこなっているが、拒否や外出等で日にちを変更したりしながら、支援している。	入浴日は火曜と金曜に設定しており、午前と午後の時間帯で利用者の希望に合わせて実施しています。入浴を拒む利用者には、時間を変更したり、声をかける職員を変えるなどの工夫をしながら支援をしています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとり休息したり、安心して眠ることが出来るよう支援している。			
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別の処方箋は変更時や薬の処方時に個別ファイルに綴り、いつでも回覧できるようにしている。			
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりに合った生活リズムで調理や食器拭き・洗濯物たたみや天気の良い日のドライブやカラオケなど、入居者の希望に添った支援を心がけている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	身体機能維持のためやストレス解消のため、買い物・外食・ドライブ・行事等で外出している。家族の希望があれば適度の外出はある。	ホームの敷地は広く、中庭にはバードテーブルやパークゴルフのコースがあります。気候の良い時期はウッドデッキで外気浴などを行ったりすることもできます。ホームの車で毎月の外出を企画し、買い物などに出掛けています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本はホームにて管理しているが希望者には、家族の同意を得て、少額の金銭を所持されている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時や必要時には電話等の支援をおこなっている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	常に清潔を保ち、換気・湿度・音・光等に注意しながら、季節ごとの飾り付けを入居者と一緒に作成したり、飾ることで季節感を感じていただいている。	ホームの建物は玄関に面した広いラウンジを挟んで両翼に各ユニットが配置されています。そのため、広い室内を利用者が思い思いに行き来し、気に入った場所で過ごすことができます。ユニット内にはそれぞれの入居者と共に作った作品や写真が飾られています。天井も高く開放感があり、大きな窓から風景や中庭を見渡すことができます。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	少人数や一人で過ごすことが出来るよう、テレビ・ソファ・テーブル等何箇所かにスペースを作り、思い思いに過ごせるよう工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族と相談しながら、使い慣れた家具や本人の好みの物を利用し、本人が心地よく安心して過ごせるよう工夫している。	居室は大きな物入れがあり、収納スペースが確保されています。利用者が使い慣れた家具や思い出のある品々を持ち込み、それぞれに居心地よく整えられています。利用者毎に職員が担当制をとっており、居室の清掃や季節の衣類の交換などを支援しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ・風呂場・居室等の表示をし迷わないよう工夫しながら、迷いそうなときにはさりげなく声かけ・誘導している。		